

足利風 -ashikaga-fu

2018
8月号

Vol. 57



書：風喜人

足利市民活動センター

開館時間：平日 午前10時～午後7時

〒326-0051

栃木県足利市

大橋町1丁目2006-3

TEL 0284(44)7311

FAX 0284(44)7312

mail info@shimin-act.jp

HP <http://www.shimin-act.jp>

HP QR コード



☆ ご案内 ☆

- *特集！
- *TOPICS
- *私のボランティアことはじめ
- *サークル紹介
- *インフォメーション
- *センターからのご案内

＊市民協働のまちづくりを！＊

徳島の友人から“かぼす”を1箱もらって、みなさんにおすそ分けして喜ばれたことがある。確かにひと味が違って美味しかった。

地方は戦後、都市の労働力として若者を送り出しつづけた。結果、富が富を生む経済至上主義の論理で東京一極集中となった。若者が外に、老人が内にの過疎化と高齢化で、やがてのことに、日本創成会議の“地方の消滅”という言葉になった。

このことに徳島が猛反発～徳島は宣言するVS東京！～と、10の徳島宣言をした～

＊ここなら安心して子育てできる ＊歳をとってもいきいきと輝ける ＊しなやかに災害に立ち向かう ＊山奥でも速い日本一のネット環境を ＊女性が自分らしく生きられる ＊この地で生まれる、世界を変えるイノベーションを ＊日本の原風景を残していく ＊この土地の“食”は幸せをもたらす ＊世界に誇れる文化を発信する ＊“おもてなし”のルーツがここにはある・・・ことを。



四国八十八ヶ所巡礼の聖地で、かつて全国ボランティア研究集会を企画した。地元の方々とテーマを練った～「おせったいの心」。ボランティアの根源にあるものだった。ここには住民が主体的に地域を担う、自分たちが納得できる戦略を創っていく、という成熟ステージに入った日本の新しい生き方がある。自然との共生をはかりながら生活の質を高めていく、自分らしく豊かな生き方をめざす志が・・・ある。一人ひとりのライフスタイルを尊重しながらも、互いに支え合う地域コミュニティを！という市民協働のまちづくりの志が・・・ある。

あなたは自分の仕事・生活以外に、地域のために何ができますか？

(M生)

＊感動の書展「わたらせの風」大反響！＊

4月16日～26日に足利市民活動センター3Fみんなの広場で開催された企画展「わたらせの風」は、足尾鉾毒被災民を支援した田中正造の“人道の稽古場”“天国へゆく道普請”や正造をはじめ心酔者の絶えなかった吉田松陰をしのぐと言われた巢鴨・謙和舎で教えた幻の新井奥遂の“謙”。そして、安中で牧し、「上毛教界月報」を通じて非戦論を最後まで貫いた柏木義円の“愚俗の信”などなどの“いのちの思想家”3人の心洗われる名言と田中正造を核とする渡良瀬のネットワークの凄みが、多数の来館者に深い感銘を与えた。

足利に全国から熱視線！

～子どもの権利条約フォーラム 2018in とちぎ～

三田和子



子どもの権利条約（児童の権利に関する条約）は、子どもの基本的人権を国際的に保障するために定められた条約です。18歳未満を「子ども（児童）」と定義し、国際人権規約が定める基本的人権を、子どもの視点から詳説。子どもの「生きる」「育つ」「守られる」「参加する」という権利を実現・確保するために必要となる事項を規定しています。1989年国連総会において採択され、日本は1994年に批准しました。2016年には児童福祉法が大幅改定され、第一条に「全て児童は児童の権利に関する条約の精神にのっとり…」と子どもの権利条約が児童福祉法に明文化されました。

子どもの権利条約フォーラムは、子どもの権利条約ネットワーク(NCRC)が呼びかけのもと全国各地で開催されています。26回目を迎える今年、11月3日、4日の2日間、足利市民プラザ、足利地場産センター(4日のみ)を会場に開催することとなりました。栃木県での開催ははじめてです。

先日4月22日「キックオフミーティング」として栃木県内各地から70名が集まって、県内の子どもに携わる19の団体・個人の活動報告・まちづくりに関わる高校生の活動報告を聞き合い、子どもの権利条約フォーラムについて学びました。そして「子どもの権利条約フォーラム 2018in とちぎ実行委員会」を設立いたしました。今後実行委員会やプレフォーラムを県内各地で開催し、子どもの権利条約の理念に立ち返り、子どもを取り巻く現状や課題について当事者である子どもたち・市民のみなさんとともに学び合いながら、11月当日を迎えたいと思っています。より多くの皆様のご参加をお待ちしています。

問い合わせ先 kodomonokenri.2018tochigi@gmail.com

＊「絵本庵」～大人が絵本を読み合う会～

大人に絵本？ 何で？ と、思う方もいるかもしれませんが、大人になってから絵本と触れ合う意義は少なくありません。子どもは登場人物に感情移入して絵本を体験します。大人でも純粋に絵本を楽しんでいることもあります。多くの場合、大人は行間を自分の知識・経験・価値観で補い、無意識に心を投影しています。1冊の絵本でも感じ方はそれぞれ異なります。この「絵本庵」では、絵本を読み合っ、お話をしています。絵本を囲んで、お話をすることで心が軽くなるかもしれません。一緒に絵本を体感してみませんか！

「絵本庵」代表 中島由貴子

Mail: nakajima-8@outlook.jp

① インフォメーション ①

☆「まちの縁側」～読書サロンへのご招待～

だれにでも心に残る一冊の本があります。童話・小説・詩集・・・等々。
その一冊の本を導きの糸として、案内人を囲んで、参加者のみなさんと一緒に、
ワイワイガヤガヤ・・・と。新しい人との出会いや物語を紡いでみませんか。
どうぞ、お気軽にご参加ください。

★8月17日(金) PM2:00～4:00

- * 本 : 「100万回生きたねこ」(佐野洋子著)
- * 案内人 : 森田芳巳 さん
- * ひとこと : 大人も子どもも楽しめる絵本です。みなさんも1回は見たり読んだりしたことがあるのではないのでしょうか。主人公のとらねこが、私たちに、生きることや愛すること、そして・・・などさまざまなことを考えさせてくれる絵本です。こんな素敵な絵本を真ん中にして、温もりのあるひとときを一緒に過ごしてみませんか！

★9月21日(金) PM2:00～4:00

- * 本 : 「杉山智恵子」～杉本良吉の妻の生涯(長 太三著)
- * 案内人 : 長 太三 さん
- * ひとこと : 足利(現・猿田町)に生まれた杉山智恵子は、昭和13年、女優 岡田 嘉子を伴ないソ連に亡命した演出家・杉本良吉の妻である。その年の11月、苦難の中で30歳で夭折。宮本百合子など女流作家とも交流のあった智恵子の数奇な生涯をたどる。

■会場:足利市民活動センター

■参加費:無料

■お問い合わせ・事務局: 足利市民活動センター ☎44-7311

* センターからのご案内 *

☆みんなの広場 ～ 8月・9月のご案内 ～

- | | | |
|-------------|-----------|----------|
| * こま犬の魅力展 | 7月30日(月)～ | 8月16日(木) |
| * 竹工芸展 | 8月20日(月)～ | 30日(木) |
| * 能面の美 展 | 9月 3日(月)～ | 13日(木) |
| * あそびっく4周年展 | 9月18日(火)～ | 27日(木) |

☆相談室&講座のご案内

- * 相談室 = 毎月第2・第4水曜 午後2時～4時 ※詳しくは、別紙参照
- * 講座 = 毎月1回 午後7時～9時 ※詳しくは、別紙参照

* 編集後記 *

“花は土に咲く”という言葉は友人の松本の僧侶から聞いた。昔、水俣で石牟礼道子さんから・・・。“花”を“あな”としか言えなかった胎児性の女の子のために桜の花びら供養をする。ところで、私のボランティアの原点・山谷を今では“人間を助ける街”と呼ぶそうだ。時代は変わる。

(カサブランカ)